

# 活躍人訪問

**稲沢御田植踊り保存会**  
会長 **渡辺 久宗** さん

■保存会の活動  
稲沢御田植踊りは、本宮市指定無形民俗文化財のひとつです。田の神に対して、その年の豊作を祈願した予祝神事の御田植踊りは、明治末期に近隣の二本松市石井地区にある田植踊りを習い受け、大正3年の正月から行うようになったといわれています。

戦後、途絶えてしまった御田植踊りですが、昭和48年頃から先輩の教えを受け、当時の青年団が復活させました。

演目は、稲作の順序にしたがって田植えや稲刈りなど16種あり、囃し方の歌い手と小太鼓、笛、すり鉦に合わせて踊ります。また、御田植踊りの他に七福神舞も演じています。



▲ぜひ多くの皆さんに、稲沢御田植踊りをみていただきたいと語る渡辺会長



▲稲沢御田植踊り

かつては小正月の行事でしたが、現在は、稲沢円福寺の節分祭と稲沢地区の敬老会や11月に稲沢地区で行われるふれあいまつりなどで披露しています。

披露する約1カ月前から、稲沢分館で練習します。

会員は15人で、昔からの伝統芸能を守っています。

■会長としての思い  
会員も高齢になり、御田植踊りをこれから後に引き継いでいくために、地元の方々の新たな力が必要です。興味のある方はぜひご連絡をいただきたいと思っています。また、稲沢の御田植踊りは、田植えから収穫までの稲作の行程の動作を再現している他にはない踊りです。たくさんの方に見ていただくと、稲沢の御田植踊りを知ってほしいと思います。

■私の趣味  
機械いじりが好きです。自宅にある農機具や重機の修理をしたり、手入れをしている時間が楽しみです。

本宮市の皆さんを紹介するページ

# みんなのひろば

今日の人  
**國分 宏明**さん  
KOKUBUN HIROAKI  
(本宮市南河原田)

剣道が趣味であり、特技でもあり、本当に剣道を楽しんでやまないという國分さん。昭和62年からは市消防団員としても活躍しています。



▲剣道は6段の腕前。稽古中の一枚

私の随想録

## 「剣道で学んだ事」

私は、小学4年生から旧本宮町にあった洗心館道場で、剣道を始めました。館長は故二瓶利男先生で、小中学生と教えをいただきました。高校ではクラスの担任であり剣道部の顧問であった浅間重一先生に教えをいただきました。お二人とも、共に基本を重視する方で、剣道を長く続けていく上で基本が一番大切ということをお二人から教わりました。

剣道の基本は覚える事や身につける事などたくさんあります。中でもあいさつをするなどの礼儀作法については、厳しく教えていただきました。剣道には「礼に始まり礼に終わる」という言葉があります。これは、稽古をする上で相手への感謝・尊敬・いたわりなど様々な要素があると思います。この事を習得することにより日常生活でも生かされると思っています。

私は本宮剣道スポーツ少年団で、小学生から先生方と月・木・土曜の週3回稽古をしています。その中で子どもたちには大きな声であいさつをする、何かできない人がいたら自分から進んで面倒みるなど、剣道以外にも人としての一般的な事を教えていきたいと思っています。そして、剣道スポーツを卒業した子どもたちが将来戻ってきた時に同じ想いで指導者としてスポーツに携わってもらいたいというのが私の夢です。

最後に、本宮には宿泊して合宿できる場所がないと思います。公民館などで行うことがありますが浴場が近くになかったり、あつても早く終わってしまうなど不便なところがあります。子どもたちのためにも、整備していただければありがたいと思います。

◇◇◇  
来月は、石橋正彦さん（和田字岩角）の予定です。

FM Mot.Com 情報

あの声は、私です...

《パーソナリティ紹介》  
◆ラジオネーム：よしこワールド  
◆本名：平 佳子  
◆出身：埼玉県さいたま市（いわつき区）  
◆趣味：ピアノ

◆担当番組：グッド・モーニング・カフェ（毎週金曜日 午前7時30分～）  
◆リスナーに一言：ラジオでも天然ボケが入りますがよろしく♡



▲あいさつ運動の様子



▼クラス対抗駅伝大会

収や市の夏体験ボランティアへの積極的な参加、地域のお年寄りとのふれあいサロン訪問など多岐にわたります。

今後も、伝統であるあいさつ運動をより活発にし、元氣とやる気溢れる学校にしていきたいと思っています。

こどものひろば

本宮市立白沢中学校

星田 弘美 校長

【生徒数】  
301名（平成24年3月1日現在）



本校は豊かな自然に囲まれ、落ち着いた学習環境にあります。起伏に富んだ通学路は、子どもたちの健脚を鍛え、豊かな自然が穏やかな心を育んでいます。

教育目標は、「進んで学習する生徒」「正しい判断と行動ができる生徒」「心と体を鍛える生徒」です。教育目標を達成するために「やればできる」を合言葉にしています。様々な活動に失敗を恐れず取り組み、自分自身の強さや弱さを知ること、自分を深く理解できるように考えています。

特色ある活動として、2日間で開催する白中祭があります。全校生徒が一丸となり、クラス対抗の駅伝大会が実施され、自慢の健脚を競いあいます。また、各学年、学級のステーション発表や合唱コンクールなど大変な盛り上がりを見せます。

生徒に「白沢中の伝統は」と尋ねると「中八九」あいさつ運動」と答えるほど、あいさつへの意識が高いです。毎朝、生徒会が中心となり、あいさつ運動を活発に行っています。学校内外を問わず、「気持ちの良いあいさつ」が白沢中学校の伝統です。その他にも、ボランティアの意識が高く、ペットボトルキャップの回